

ふくおかトーク「ふくおかまちを思う」 地域を動かす仕事と地方創生について

～東京スカイツリーや、ひみ「魚々座」等の事例を通して社会課題を考える～

■8月21日(日) 14:00～15:30／(開場:13:30)

福岡にぎわい交流館「フクール」 福岡駅隣り

定員 80名 入場料 500円(ドリンク付き)

東京の大手広告代理店博報堂に勤務し、東京スカイツリーのプロジェクト等にも関わり、退職後は、氷見市役所において、「ひみ漁業交流館 魚々座」の館長として企画・運営に携わった養島毅氏が、地域を動かす仕事の魅力や地方創生の意義などについて熱く語ります。



養島 毅(みのしまつよし)

高岡市福岡町(中央通り)出身。

富山県立高岡高等学校～慶應義塾大学法学部卒業。

1977年、株式会社博報堂に入社。航空会社、製薬会社、外資系クライアントや官公庁等、幅広い得意先の担当営業として広告プロモーションとプロデュース業務を経験。

九州支社営業部長、北陸博報堂執行役員等を歴任。

2006年から2009年には、経産省系団体「新日本様式」協議会に出向し、日本のモノづくり活性化支援の活動を行う。

帰任後、東京スカイツリープロジェクトチームで、すみだブランド等地域ブランドによる地域活性化業務に携わる。東京スカイツリープロジェクトの終了後は、中小企業庁系の団体、中小機構の「Rin crossing」事業の事務局長として日本全国の個性豊かな中小メーカーとバイヤーをつなぐという業務にも取り組んだ。

2013年博報堂を繰上げ定年退職し、2014年4月から16年3月まで氷見市参事。「ひみ漁業交流館魚々座」館長として勤務。

- ◆主催:福岡トーク実行委員会 共催:福岡町芸術文化協会、高岡市、高岡市教育委員会、福岡町商業協同組合、地域女性ネット高岡福岡地区婦人会、(株)ウエルカム福岡
後援:高岡市商工会福岡支部 ◆お問い合わせ先:090-8702-7435(寺田)
◆チケット販売:高岡市ふくおか総合文化センター(Uホール) いっぱく処 まちづくり福岡工房